

# 尹東柱詩碑献花式・講演会

## 「一点の恥辱なきことを」



尹東柱の肖像と花束などが捧げられた詩碑  
(今出川キャンパス)

本学ハリス理化学館の横に  
佇む詩碑に刻まれた『天(そら)と星と風と詩』の「序詩」を詠んだ詩人尹東柱(ユン・ドンジュ)・1917-1945年。多くの美しい詩を残し、若くして亡くなった彼の命日

州生まれ。1942年に来日し、立教大学を経て、本学文学部に編入。本学在学中の1943年に治安維持法違反の疑いで逮捕され投獄、福岡刑務所にて非業の死を遂げた。

詩碑建立にも尽力した「尹東柱を偲ぶ会」と「同志社コリア同窓会」が主催した詩碑献花式には、水谷誠理事長を

はじめ同志社の関係者や、河泰允(ハ・テユン)駐大阪大韓民国総領事、また彼の作品を慕う多くの人々が列席した。同志社コリア同窓会事務局長・朴信明氏の司会のもと、同志社コリア同窓会直前会長・朴春玉氏が開会宣言、希望の家カトリック保育園顧問・崔忠植氏が祈禱、「尹東柱を偲ぶ会」会長・朴熙均氏が主催者挨拶、河総領事と水谷理事長がそれぞれ来賓挨拶を行った。来賓の紹介が行われた後、一同でハンゲルと日本語で「序詩」を朗読し、詩碑に花を手向けた。

野潤氏が「尹東柱の詩の世界」をテーマに尹の人となりや作品について論じた。上野氏は尹が「序詩」の「一点の恥辱(はじ)なきことを」にあらわれているように感じ、い倫理を自らに課した人物であり、その作品にもこの世の「病んでいる人々」を詩をもって治療しようという自己

犠牲的な使命感が内包されていると指摘した。特に、尹の詩が「時代・国境を越えた文学性を備えており、そのメッセージを受け取ることでできる現代人でありたい」との言葉には深く頷く聴衆の姿も見られた。閉会の挨拶は同志社コリア同窓会副会長・金龍周氏がを行い、一同は来年の再会を約束して一連の式典は終了した。なお、式典終了後には、寒梅館1階のカフェレストラ「アマーク・ド・パレード」にて交流会がもたれた。

開島(現在の延辺朝鮮族自治州

その純粋さ・清冽さゆえに、今なお多くの人を魅了し続けている尹の作品。来年は彼の生誕から100年を迎えるが、彼の作品に親しみ続けることのできる世界であることをあらためて願った一日であった。

将来は「国際関係の仕事に就いて、日本とインドネシアの『懸け橋』になりたい。日本にインドネシアのことを紹介する本、また、日本で学んでいることや体験していることをインドネシアに紹介する本を書きたい」と考えているキャンディーさん。「日本とインドネシアは地理的にも近いですし、私たちは同じアジア系。(太平洋戦争中には)日本による軍事占領という不幸な過去がありました。が、友好関係を築き上げ、よりよい世界を作っていくことができると信じています」。その明るい笑顔が、両国の「未来」を照らしてくれることを願っています。

(広報委員 矢部景子)

講演会(会場:至誠館23番教室 司会:朴信明氏)では、同志社コリア同窓会会長・崔龍漢氏による開会の挨拶の後、日本聖公会奈良基督教会司祭・井田泉氏が詩の朗読と講話を行い、尹東柱の研究者である京都女子大学講師・上

5月1日(弊社創立日)は【宅配ボックスの日】に登録されました。  
※日本記念日協会にて

5月1日(弊社創立日)は【宅配ボックスの日】に登録されました。  
※日本記念日協会にて

フルタイムロッカー(宅配ロッカー)の企画・開発・販売・管理  
株式会社フルタイムシステム

本社/東京都千代田区岩本町2丁目10番1号  
TEL(03)3851-5831(代)  
FAX(03)3851-7641  
ホームページ <http://www.fts.co.jp/>  
代表取締役 原 幸一郎(校友)

Jazz & Dinner  
**Mister Kelly's**  
SINCE 1990.9

シェフ自慢の料理とライブをお楽しみ下さい

**ミスターケリーズ**

TEL:06-6342-5821  
営業時間:17:30~23:00  
〒530-0002  
大阪市北区曽根崎新地2-4-1  
ホテルヒスタブルミオ堂島1F  
地下鉄西梅田駅より徒歩3分、JR大阪駅より徒歩7分  
URL: <http://www.misterkellys.co.jp>  
インターネットでのご予約は10%OFFとなります。

(広報委員 矢部景子)